

# いちき 串本野

市議会だより



【旭小学校・旭幼稚園の合同運動会（9月19日開催）】

## 9月定例会（8月27日～9月24日）

- 8人の議員が市政を問う ..... P2～6
- 条例等の審査、表決結果 ..... P7
- 令和3年度補正予算審査 ..... P8～9
- 令和2年度会計決算審査 ..... P10～13
- 議会改革推進特別委員会からの報告 ..... P14～15
- 新議員の紹介、議会の動き ..... P16

No. 83

2021.11.22

# いちき串木野市政の ここが知りたい!!



※一般質問とは、議員が市の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるもので、政策論争が行われています。

9月定例会の一般質問では、市政について8人の議員が20項目の質問をしました。質問答弁の内容(3～6ページ)については、議員本人が要約しています。

※9月定例会では、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、一般質問の質問時間を短縮しました。

**通常45分 ⇒ 今回30分に**

(※市当局からの答弁時間は含みません。)

9月9日(木)

だいろくの かずみ  
**大六野 一美** 議員 (P3)

1. 市長選挙について
2. 人口減少社会について

ひがし いくよ  
**東 育代** 議員 (P3)

1. 指定管理者制度導入の成果について

なかさと すみと  
**中里 純人** 議員 (P4)

1. 市長の政治姿勢について
2. 新型コロナウイルス感染症対策について
3. キオビエダシャク対策について

にしべっぶ おさむ  
**西別府 治** 議員 (P4)

1. コンパクトシティ+ネットワークの立地適正化計画について
2. 英語教育の推進について

9月10日(金)

たなか かずや  
**田中 和矢** 議員 (P5)

1. 福祉施策について
2. 教育行政について
3. 川内原発の40年問題について

まつさき みきお  
**松崎 幹夫** 議員 (P5)

1. 障がいのある子どもへの支援について
2. ふるさと納税寄附金について

えぐち よしこ  
**江口 祥子** 議員 (P6)

1. 3歳児健康診査での視力検査について
2. 子宮頸がん予防ワクチンの個別情報提供について

ふくだ きよひろ  
**福田 清宏** 議員 (P6)

1. さのさ祭りについて
2. かんむりだけ山市と龍踊りについて
3. バasketゴールの設置について
4. 交流センターについて
5. 過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法案について

※一般質問の様子は、市のホームページで公開しています。

(右のQRコードから映像を確認できます。)



一般質問



大六野 一美 議員

### 市長選に向けての進退は

#### 今回で市長の職から身を引く

**問** 6月議会では「熟慮中」との答弁であったが、出処進退の決断は出ているのか。

**答** 市長就任以降、誇りと愛着を持ち発展させたいとの思いで市政の舵取り、施策に取り組んできた。進退については、今回をもって市長の職を引くことを決断した。

**問** 長く市政を担ってきたが、施策についての思いを伺う。

**答** ハード面では念願の総合体育館、薩摩藩英国留学生記念館、学校給食センター、防災センター、環境維新のいちき串木野電力の設立、最終処分場、小中学校の耐震補強及び空調整備、観音ヶ池市民の森磨き上げ事業、川南ほ場整備事業など、ソフト面では、子育て支援センターの開設、基幹相談支援センターの設置、市立ハローワークの開所、七夕踊りや祇園祭などの文化振興を通して、地域づくり・人づくりを行ってきた。

**問** 本市の重要課題は何と考えているか。

**答** 人口減少、少子化だと考える。第2期総合戦略における持続可能なまちづくりを行い、人口流出に歯止めをかけなければならない。

**問** 後継者には市長の政治姿勢を引き継げる人がベストと考え

るが、基本的な考えを伺う。

**答** 現状を理解し市政全般の実務に精通し郷土愛に富んでいる人、情熱・使命感・アクションを常に持ち、気迫のある人が望ましい。

### 人口減少対策

#### 思い切った投資、政策展開が必要

**問** 乳幼児から中学卒業までの医療費無償化など他市に先駆けて取り組んできたが、人口減少に歯止めがかからない。今後、どのような施策が考えられるか。

**答** 今後、人口減少の状況でも本市の魅力と価値を高めなければならない。安心安全に健康で潤いのある生活を送り続ける豊かな地域社会を創造することで、人口規模の安定化を図るべきと思っている。少子化対策は国の課題と考えるが、市として思い切った施策を展開することも必要。



東 育代 議員

### 指定管理者制度導入の成果は

#### 経費削減に一定の効果

**問** 制度導入時と比較すると、撤退事業者や応募団体数の減少がある。事業の成果をどのように考えるか伺う。

**答** 利用者増や市民サービスの向上、経費削減等に一定の効果が見られている施設もあり、職員の業務削減など効果的、効率的な行政運営に寄与している。

### 都市公園の要望・課題は

#### 緊急性の高い順に対応

**問** 市民サービスの満足度を上げるためには大変厳しいと思うが、管理者からの要望・課題はないのか伺う。

**答** 要望・提案等はトイレや遊具の修繕や除草関係が多くある。管理者と協議して対応している。

### 季楽館の支援体制は

#### 管理者と連携を密に図る

**問** 季楽館の運営管理状況はどうか。

**答** 生産者、顧客及び働き手の高齢化などの課題があるが、関係者と連携を図っていく。

### パークゴルフ場の今後は

#### 大規模改修のため市が管理運営

**問** 施設内の状況について様々な意見が寄せられていると思うが、どのようなか伺う。

**答** 平成20年に開設してから13年経過し、芝等が老朽化している。早急な改善が必要である。



中里 純人 議員

### 市長マニフェスト 達成している

**問** 本市の将来への展望など、現状をどう見ているのか。

**答** 市民の皆様が力を合わせて力強く前進している。鹿児島市や薩摩川内市と競い合って明るい展望を見出さなければいけない。

**問** 人口の推移と人口減少の要因は。

**答** 1年に400人程度減少。進学や就職による転出が大。

**問** 人口減少対策としてベッドタウン化を図るため通勤通学補助制度を検討してはどうか。

**答** 個別の支援は抜本的な解決策とならないことから、婚活、結婚の支援、妊娠から子育てまで切れ目ない支援を実施する。

**問** コロナ対策の効果や評価ならびに今後の見通しは。

**答** プレミアム100%の商品券を3回実施。6割が中小取扱店用で有効な経済対策であった。第4弾を提案し、難局を乗り切る。

### コロナワクチン

#### 供給が大幅に減少

**問** ワクチン接種の見込みはどうか。

**答** 9月8日時点で1回目接種率71.5%、10月末までに75%になると試算している。

**問** 学校でのオンライン授業の準備はできているのか。

**答** タブレットは学校休業など緊急時に持ち帰る。家庭でのネット環境は小学14%、中学9%が未整備。教職員のICTスキル向上を図る。

### キオビエダシヤク

#### 大量発生

**問** 対策として薬剤の無料配布や散布用の噴霧器の貸し出しは考えていないか。

**答** 検討はしていない。広域で駆除することが効果的である。駆除方法等についてホームページや広報紙で周知する。駆除が出来ない方には業者を紹介する。



西別府 治 議員

### コンパクトシティ+ネットワークの、まちづくりを推進する。

**問** 立地適正化の進捗について。

**答** 急激な都市部への集中を促すのではなく計画区域外に配慮し、緩やかに誘導する、都市機能誘導区域及び住居誘導区域を設定、三つの駅やバス停を中心に徒歩で移動できる公共交通のネットワーク計画を策定中。

**問** 16地区の生活拠点と誘導区域の連携について。

**答** まちづくり協議会と連携し、通勤、通学、病院、買い物等の市民生活を支え、コミュニティバス、乗り合いタクシーで誘導区域の効率的で利便性の運行サービスを行い、交流センターを中心にした生活拠点づくりを進める。

**問** 立地適正化計画を活用した、まちづくり戦略について。

**答** 今後、人口減少が激しく進むと予想され、市街地の人口密度や地域活力の低下が懸念される。財政状況も厳しくなる見込みで、医療や子育て支援など福祉、道路などの住環境整備、教育などの行政サービスの低下が予想される。立地適正化計画を踏まえ、郊外に住む方々に配慮しながら、緩やかに都市計画区域内に、居住や都市機能を誘導しつつ、効率的で効果的なまちづくりを進める。人

口が減少して都市の規模が縮小しても、市民が豊かで住み続けたい、住んで良かったと思うまちづくりに努める。

### 聞く、話す力でコミュニケーション

#### 能力を育成

**問** 「使える英語」を目指す英語教育について。

**答** 「英語のまち」で、児童生徒の英語力の向上を目指し、市を挙げて英語教育の振興に力を入れている。教育委員会は、英語教育への情熱、パッションを持って、アクションを起こし英語力向上に尽力している。今後も、夢を持ち世界に羽ばたく子供たちを育てる。



田中 和矢 議員

### 高齢者等への昼食補助について 必要な方に適切に提供できている

**問** 利用者119人は少ない。安否確認も兼ねており、条件を緩和して利用者拡大を検討できないか。

**答** 適切なサービスを提供できるように周知を図る。利用者の拡大は現時点では考えていない。

### ひとり親世帯への支援策について きめ細かな子育て生活支援を行う

**問** 情報が届かず制度を知らない方に、相談を待つばかりではなく、行政の方から寄り添い、手助けすべきではないか。

**答** 現在は、できるだけ自宅訪問の形で対応している。情報の提供方法等を今後研修する。

**問** 奨学金を現行の貸付型ではなく、給付型にできないか。

**答** 財政規模が小さく難しい。給付型の導入は考えていない。

### 通学路の点検と対応策について 安全安心な体制を検討し実施中

**問** 八街市の事故を教訓に「スクールゾーン」の増設等、生徒の安全確保の対策と現状はどうか。

**答** 側溝・歩道の整備、横断歩道のライン引き等を行い、「安全推進会議」を開催。危険箇所の調査と警察や国・県の関係機関と連携し、児童生徒の登下校時の安全に配慮した体制づくりを実施中。

### 小中学校の給食無償化について 給食費の無償化は考えていない

**問** 20億の「ふるさと納税寄附金」を使い、実現可能だと考える。子どもたちへの投資として、また、税の本来の趣旨にも合致するがどうか。

**答** 学校給食法で給食費は保護者負担と定められている。貧困対策や所得の少ない方への対応は、就学援助費等で対応している。

### 原発の40年超え延長について 「40年ルール」が望ましい

**問** 市長は、原発稼働20年延長についてどのように考えているのか伺う。

**答** 原発は運転開始から原則40年とされている「安全確保」が大前提。規制委員会が、厳正に審査されるべきである。同時に地域住民の理解が肝要である。



松崎 幹夫 議員

### 障がいのある子どもへの支援 関係機関と連携する

**問** 障がいのある子どもへの支援と対応について伺う。

**答** 障がい者等基幹相談支援センターを設置し、児童から成人まで障がいのある方が安心して暮らせるよう、関係機関と連携して支援を行っている。

**問** 障がいの状況が分からずに、悩んでいるときにどこに相談したらいいのか、保護者のケアに

ついて伺う。

**答** 障がいを持って生まれてきた場合や、健診により障がいがある場合、関係課及び病院等と連携して母子を支援する。

また、発達面でも支援センターの保育士や公認心理師が出向き、適切な相談支援を継続して行う。

**問** 市役所での窓口サービスが重要と考えるが、その対応について伺う。

**答** 職員の対応が重要である。住民が必要としている情報の提供方法等について充実を図り、今後とも窓口サービスの改善を図る。

### 更なるふるさと納税の取組 パートナー企業と開発する

**問** ふるさと納税の増額に向けて具体的にどう取り組むのか。

**答** 5つの事業所に新規でパートナー企業として登録いただ

いた。寄附者のニーズに合わせた返礼品について、市とパートナー企業が一緒になり、開発を進める。

**問** 返礼品開発の取組について伺う。

**答** 高額寄附者向けに、半年や1年間にわたり定期的に返礼品をお届けする定期便がある。

肉や魚に特化したものや、季節に応じた特産品など、本市の魅力が伝わり、寄附者の満足度が高い商品の開発を進めている。

**問** さらに多くの方への周知が必要と考えるが、今後どのように取り組むのか伺う。

**答** 市広報紙にふるさと納税についての特集ページを設ける。また、市民の皆さまが市外の親戚や友人に紹介して寄附を申し込んでもらえるよう、リーフレットの作成を進める。



江口 祥子 議員

### 3歳児健康診査での視力検査 母子保健マニュアルに沿って実施

**問** 3歳児健康診査で異常が見過ごされ治療が遅れると十分な視力が得られないことがあるため、3歳児健診による眼科健診はとも重要とし現状を伺う。

**答** 一次検査は各家庭でランドルト環を用いて実施する。家庭で視力検査ができない場合、二次検査の健診会場で看護師や保健師が視力検査を行う。

※ランドルト環とは…  
一般的な視力検査で用いられるもの。アルファベットのCに似た文字で、大きさや向きが異なるものが表示されている。

**問** 子どもの目の発達のためには早期発見・治療が大切である。視力検査の周知・啓発について伺う。

**答** 3歳児健診の前に県のマニュアルに基づき目に関するアンケートを同封し、子どもの視力について、日常の様子から注意深く観察していただくことを周知している。今後保護者に対し、視力機能が6歳までに完成することから、3歳児健診が重要であることを分かりやすい広報内容となるよう検討する。

**問** 早期発見に役立つ検査機器の導入はできないか。

**答** 厚生労働省が2022年度補助を予算化する方針である。国

や近隣自治体の動向を注視し検討する。

### 子宮頸がん予防ワクチン

#### 接種希望者に対し受診票を送付

**問** 子宮頸がんやHPVワクチンについて、有効性・安全性に関するリーフレットを送付しているが、送付後の問合せ状況を伺う。

**答** 小学6年生から高校1年生までの全対象者591名の保護者に、リーフレットを同封した文書を送付。接種希望の問い合わせ20件に対し受診票を送付した。

**問** 子宮頸がんは、ワクチンと検診で撲滅できる唯一のガンである。本市の取組はどのようか。

**答** 全対象者の保護者に対し、国の動向に注意し、広報紙・市ホームページ等を活用し、必要な情報を提供している。現在、子宮がん検診を実施しているため、受診していただくよう啓発を行う。



福田 清宏 議員

### さのさ祭りについて

#### 意見も参考に話し合いへ

**問** 今日の催しの在り方に鑑み、一部は串木野さのさ市中流し踊りの原点に戻り、二部はみこし等の出演による夏祭りとして銘打って行えば、踊る人も見る人もより楽しい祭りになると思う。協議の議題とすることはできないか伺う。

**答** 意見等も参考にしながら今後実行委員会の中でお話をさせていただきたいと考える。

### かんむりだけ山市と龍踊り

#### 現在、招致の判断には至らず

**問** かんむりだけ山市物産展の令和2年以降の事業の在り方について地元との検討の経緯と結果について伺う。

**答** 令和2年2月開催の実行委員会では、今後は地元負担が少なく霊峰冠岳の地の利を活かした持続可能な新たなイベント等を模索していくとのことである。

**問** 当初は産業の振興と交流人口の増加を目的とし招致の経費の半分を市が商工会議所へ補助金を出すと、市を挙げて龍踊りの招致に関係各団体と一緒に交渉を重ね実現したこの原点に戻り、今一度、動くべきであると思うが、伺う。

**答** 長崎龍踊りだけを単体で呼ぶのは難しいとのこと、現在、招致の判断には至っていない。

### 特別措置法による事業計画

#### 12月議会へ上程

**問** 過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法に基づく事業計画について伺う。

**答** 過疎対策となる事業を網羅して掲載する。過疎対策事業債は充当率100%、交付税措置率70%の有利な起債で貴重な財源として有効に活用する。

市民の生活に密着した道路改良特別事業も活用の対象となる。

### バスケットゴールの設置

#### 公園への設置は見合わせる

**問** 子ども達の心身の発達の為に公園の一角にバスケットゴールの設置はできないか、伺う。

**答** 道路にボールが出ないように公園の中心部に設置すると、他の利用への影響があることから公園への設置は見合わせる。

# 条例の制定・改正、その他

## ○特定教育・保育施設等の運営基準改正

保育所等の業務負担軽減を図る観点から、書類・文書等の作成や保存等について、電磁的な記録を認めます。

また、保育所等を利用する保護者の利便性向上や業務負担軽減等を図る観点から、保護者の承諾を得られた場合には、すべての書面等の交付や提出について、電磁的な対応を認めます。

【市内の対象事業者】

事業種別	施設・事業
特定教育・保育施設	幼稚園・保育所・認定子ども園
特定地域型保育事業者	家庭的保育事業

## ○消防ポンプ自動車(2台)の購入

生福分団と川北分団の消防ポンプ車を更新します。

【現有の消防車両】

分団名(車名)	経過年数	走行距離
生福分団(生龍号)	24年	1万1,322 km
川北分団(海竜号)	23年	1万1,938 km

【購入価格(2台分)】 4,763万円(税込)

【契約の相手方】 ㈱熊谷消防設備(鹿児島市)

**問** 財政が厳しい状況や走行距離が少ないことを考えれば、もっと長く活用すべきではないか。

**答** いざという時に故障で動かないとか、作業中に止まってしまうことや、不具合が出た際の部品交換などを懸念して、今回の購入を判断した。

## ○市営住宅条例の一部改正(胡麻堀住宅)

昭和41年に建設して55年経過した胡麻堀住宅(日出町163番地)の老朽化が著しいため、用途廃止します。

## ○学校設置条例の一部改正(旭幼稚園)

昭和45年に開園した旭幼稚園(金山14067番地)を令和3年度末で廃止します。

**問** 閉園後の跡地利用をどのように進めるのか。

**答** 旭幼稚園の園舎が旭小学校の敷地内にあることから、小学校の施設として多目的室などに利用したい。今後、学校や地域と協議をさらに進めたい。

## ○市三役の給与条例改正

本市職員による不祥事に関し、現在実施している特別職に係る給与月額減額措置に加え、給与月額(9月分)の減額措置を行います。

【減額措置】

	今回の措置(1か月分)	現行の措置
市長	50%減額【▲32万3千円】	10%減額
副市長	30%減額【▲12万7千円】	5%減額
教育長	30%減額【▲17万1千円】	1%減額

## ○市教育委員会委員の任命

市教育委員会委員に福山 希氏を任命します。(4年間)  
【任期】令和3年11月26日～令和7年11月25日

## ○意見書の提出(地方税財源の充実)

新型コロナウイルスのまん延により地域経済に大きな影響が及ぶなか、地方自治体の財源を確保するため、地方税制の充実・確保を求める意見書を提出します。

【送付先】

衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・内閣官房長官  
総務大臣・財務大臣・経済産業大臣・経済再生担当大臣

## 9月定例会の表決結果

提案された議案について、議長を除く14人の議員による採決を行いました。

### 全会一致で可決された議案等

<p>【条 例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正</li> <li>・市営住宅条例の一部改正</li> <li>・市立学校設置条例の一部改正</li> </ul>	<p>【補正予算】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般会計(第4号:専決処分)</li> <li>・一般会計(第5号)</li> <li>・一般会計(第6号)</li> <li>・国民健康保険特別会計(第1号)</li> <li>・介護保険特別会計(第1号)</li> <li>・後期高齢者医療特別会計(第1号)</li> <li>・下水道事業会計(第1号)</li> </ul>
<p>【決算認定(令和2年度会計分)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般会計</li> <li>・国民健康保険特別会計</li> <li>・地方卸売市場事業特別会計</li> <li>・介護保険特別会計</li> <li>・後期高齢者医療特別会計</li> <li>・水道事業会計</li> <li>・下水道事業会計</li> </ul>	<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防ポンプ車(CD-I型)の購入</li> <li>・教育委員会委員の任命</li> <li>・【意見書】コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書</li> </ul>

\*賛否が分かれた議案等については9ページに記載しています。

# 9月定例会補正予算

「みんなを笑顔に！プレミアム付商品券」事業や  
サテライトオフィス整備事業 など

一般会計補正（第4～6号）9億7,116万円を追加計上  
《一般会計予算総額175億1,289万7,000円に》

## 【一般会計：歳入の主なもの】

・普通交付税の追加 **1億6,391万円**

**問** 普通交付税の算定根拠となる基準財政需要額の中で、生活保護費が昨年よりも減少した要因は何か。

**答** 基準日時点の生活保護受給者数が昨年度よりも減少したため、需要額も減少となった。

・コロナ対策事業の推進 **2億1,146万円**

新型コロナウイルスの感染拡大防止や、ポストコロナに向けた経済構造の転換・好循環の実現に向けて、地域の実情に応じた効果的・効率的できめ細やかな取組を支援するため、国からの地方創生臨時交付金を活用します。

・ふるさと寄附金基金の繰入 **3,870万円**

今回の補正予算で計上された事業を実施するため、ふるさと寄附金基金からの繰入額を追加します。

・市債の減少 **▲1億1,598万円**

令和3年度末時点における市債残高の見込み額は197億4,615万円となります。このうち117億472万円が交付税で措置される見込みです。（措置率：59.3%）

## 【一般会計：歳出の主なもの】

・LINEを活用した情報発信 **124万円**

市の公式LINEアカウントを作成して、さまざまな行政情報の発信を行います。（現在、登録を受け付けています。）

### 【今後の活用例】

- ・市の行政情報や防災情報の案内
- ・市民からのよくある質問（業務内容や手続きなど）に対して自動で応答する「チャットボット機能」の導入 など



**意見** LINEを扱えない方や年配の方には分かりづらいと思うので、十分に理解できるように説明しながら、事業を進めてほしい。

・食のまち応援LINEクーポン **1,761万円**

市の公式LINEアカウント「いちき串木野市」を登録された方に、市内飲食店で使用できるクーポンを発行します。

### 【クーポンについて】

1,000円以上の飲食時に使える500円クーポンを毎週月曜日に配信します。（来年1月末まで）  
発行枚数：32,400枚（上限に達したら終了）

・IT関連企業向けの環境整備 **3,674万円**

商店街等の空き店舗を活用して、サテライトオフィスを整備しながら、今後のIT関連企業の誘致を推進します。

**問** 今回のサテライトオフィスは、どのような場所に整備する予定か。

**答** 現在、串木野中央通り会や旭町通り会を中心に商店街の店舗を探しており、店舗面積や耐震性などの構造のほか、機能性や利便性、オフィスを整備する際のレイアウトなどを総合的に考慮して、複数の候補がある。



・企業の誘致促進 **1,670万円**

西薩中核工業団地に進出する田島板金工業(株)に対し、設備投資費用の一部を補助します。

**・企業の施設整備への補助 1億365万円**

西日本ベストパッカー(株)が輸出向けの商品供給に  
取り組むために必要な精肉1次加工の施設を整備す  
ることに、国からの補助を行います。(補助率1/2)

**・プレミアム付商品券 1億6,959万円**

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により売上  
が減少し、経営に苦慮している市内事業所の事業継  
続や経営安定を支援するため、第4弾となるプレミ  
アム率100%の「みんなを笑顔に！プレミアム付商  
品券」を発行します。

**【商品券について】**

来年1月末まで利用できる1セット5,000円の商  
品券(500円券×10枚綴り)を2,500円で販売します。  
1人2セットまでですが、マイナンバーカード普及  
促進のため9月1日以降のマイナンバーカード取得  
者と前回の「未来へつなごう！プレミアム付商品券」  
のマイナンバー分未購入者は、追加で2セット購入  
可能です。

**・「くるくるMOMIJIバス」の運行 140万円**

紅葉シーズンに合わせて串木野駅から冠嶽方面へ  
の観光バスを臨時運行して、本市への誘客を図ります。

**問** このバスの運行に合わせて、市内でお金を使っ  
ていただくための工夫をしたのか。

**答** 生福・冠岳地区による物産販売や生活研究グ  
ループによる薬膳弁当販売を行う。そのほか、  
冠岳温泉や食彩の里いちき串木野など、市内を回っ  
て買い物ができるルートを考えている。

**・「五代友厚」の特別企画展 576万円**

薩摩藩英国留学生記念館への誘客を図るため、12  
月から来年3月までの間、「五代友厚」を題材とした  
動画制作などの特別企画展を開催します。

**・道路維持費の追加 3,372万円**

市道野元平江線の歩道舗装(100m)を行うため  
の工事費等を追加します。

**・住宅リフォーム補助金の追加 500万円**

これまでの実績等により、年間見込件数を150件  
とします。(当初は100件の見込)



**・落雷での故障機器等の修繕 1,054万円**

7月15日の落雷により故障した機器等の修繕に  
係る経費を追加します。

(施設)	(故障箇所)
消防施設	・消防通信指令システム ・気象情報収集装置 等
防災センター	・JアラートUPS(無停電電源装置) ・防災監視盤 等

**・ICT教育の環境整備 2,263万円**

学校におけるICT教育の充実を図るため、ホワイ  
トボード一体型のプロジェクトを整備します。

**【特別会計・公営企業会計】**

**・国民健康保険特別会計(第1号) 65万円**

令和2年度特定健康診査等負担金の精算に伴い、  
県支出金返還金を追加します。

**・介護保険特別会計(第1号) 6,856万円**

令和2年度介護給付費負担金等の精算に伴い、国  
庫・県支出金等への返還金などを追加します。

**・後期高齢者医療特別会計(第1号) 161万円**

令和2年度収納分の被保険者保険料などを追加し  
ます。

**・下水道事業会計(第1号) 1,875万円**

収益的収支において、汚泥処理や運搬費の単価増  
に伴う汚泥処分委託料などを追加します。

**9月定例会の表決結果**

**○賛否が分かれた議案等**

【条 例】	(○は賛成、●は反対)														
	吉留良三	江口祥子	松崎幹夫	田中和矢	平石耕二	中村敏彦	大六野一美	濱田尚	中里純人	東育代	西別府治	竹之内勉	原口政敏	福田清宏	下迫田良信
・市長、副市長及び教育長の給与に関する 条例の一部改正 ⇒賛成多数で可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	*

\*…議長職のため、表決に参加しない

## 【令和2年度決算審査】

# 一般会計歳入総額217億円、歳出総額209億円

### 《令和2年度の主な取組》

- ・コロナ対策として、1人10万円の特別定額給付金給付や2回のプレミアム付商品券発行
- ・子育て支援センター「きらきら」と子育て世代包括支援センター「あいびれっじ」を開設
- ・ふるさと納税の寄附金額が20億円を突破(過去最高)

決算審査特別委員会(委員長:松崎 幹夫、副委員長:東 育代)を8月30日~9月1日の3日間開催し、現地調査・書類審査を行いました。  
また、その審査結果を9月議会最終日(9月24日)に報告し、一般会計のほか4特別会計、2公営企業会計を認定しました。

## ●令和2年度会計決算状況

会計名		歳入総額	歳出総額
一般会計		217億3,995万8,575円	209億9,410万8,908円
特別会計		82億996万9,377円	80億2,162万2,362円
(内訳)	国民健康保険	40億1,351万3,103円	39億1,331万4,898円
	地方卸売市場事業	19万3,760円	19万3,760円
	介護保険	37億2,121万5,975円	36億3,468万5,665円
	後期高齢者医療	4億7,504万6,539円	4億7,342万8,039円
計		299億4,992万7,952円	290億1,573万1,270円

公営企業会計		収入総額	支出総額
水道事業	収益的	7億1,805万9,141円	6億2,142万1,945円
	資本的	2億4,211万1,233円	4億7,882万7,378円
下水道事業	収益的	7億5,066万6,774円	6億7,415万7,275円
	資本的	2億7,656万9,100円	5億594万3,037円

## ●いちき串木野市の財政指数等

	令和2年度	令和元年度	平成30年度	説明
財政力指数	0.40	0.40	0.40	普通交付税の算定に用いた基準財政収入額の基準財政需要額に対する割合の過去3か年度の平均値。指数が高いほど財政に余裕がある。
経常収支比率	92.4	93.6	97.6	財政構造の弾力性を判断する指標であり、人件費、扶助費、公債費等の経常的経費に、税や普通交付税等の経常的一般財源が、どの程度充当されているかを示す比率。比率が低いほど弾力性が大きい。
地方債現在高	210億円	216億円	218億円	市の借金
基金の状況	67億円	65億円	72億円	市の貯金

## 一般会計（主な事業）

### 1. 歳入の主なもの

#### 市税

- 市税の収入済額は30億2,643万2,831円。令和元年度より2,189万1,824円の減となった。

#### 地方交付税

- 普通交付税は47億3,259万4千円、特別交付税は8億8,501万6千円で、臨時財政対策債を加えた実質的な地方交付税総額は、59億3,186万1千円。令和元年度より1億3,703万8千円の増となった。

#### 国庫支出金

- 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金として4億5,000万円を受け入れ、感染症に対応するための環境整備など25事業に充当。



#### 寄附金

- ふるさと納税寄附金として全国から16万3,351件、20億675万円の寄附申込があった。令和元年度より6億3,342万円の増となった。



### 2. 歳出の主なもの

#### 総務費

- 特別定額給付金の給付(27億6,135万円)  
コロナ対策として市民27,460人に10万円給付
- 冠嶽芸術文化村構想推進事業(1,135万円)

##### 【取組内容】

- ・8ミリフィルムによる地域映画事業
- ・地域の「食」資源活用事業
- ・生冠ツーリズム事業
- ・冠岳小学校の利活用事業

- ・地区まちづくり協議会運営補助金(2,825万円)

#### 民生費

- ・障害者等福祉費(9億4,707万円)
- ・長寿祝金支給事業(572万円)

年齢	80歳	88歳	90歳	95歳	100歳 到達	100歳 以上
人数	335	188	148	71	18	36

- ・児童手当給付費(3億9,013万円)
- ・保育施設等給付費(8億5,632万円)
- ・地域子育て支援センター運営費(446万円)  
市来保健センター内に「きらきら」を開設



- ・生活保護扶助費(4億8,332万円)

#### 衛生費

- ・予防接種事業(6,404万円)
- ・子ども医療費助成金(延べ17,565件、6,542万円)
- ・がん検診等の保健事業(4,756万円)
- ・危険廃屋等解体撤去工事補助金(60件、954万円)
- ・環境センター・最終処分場の施設運営維持管理費(2億6,598万円)

#### 労働費

- ・無料職業紹介所運営事業(134万円)  
市立ハローワークをKACCHEL内に開設

求人数	1,301人（うち正社員652人）
求職者数	293人
採用人数	136人（うち正社員42人）

#### 農林水産業費

##### 農業費

- ・中山間地域等直接支払交付金事業(1,766万円)  
交付対象…19団地(串木野：14、市来：5)

##### 林業費

- ・有害鳥獣捕獲事業補助金(1,220万円)

	イノシシ	シカ	タヌキ アナグマ	カラス	サル	計
捕獲頭数	1,170	344	416	144	4	2,078

##### 水産業費

- ・藻場環境推進事業(279万円)
- ・種子島周辺漁業対策事業補助金(5,888万円)
- ・県営事業負担金(1億1,212万円)  
漁港整備(串木野・羽島・戸崎)にかかる市負担金

## 商工費

- ・プレミアム付商品券事業

事業名	事業費
食のまち応援商品券	1億 80万円
みんなで応援プレミアム付商品券	1億7,722万円

- ・空き店舗等活用促進事業補助金(434万円)

補助内容	件数	補助金額
改装経費等補助	8	141万円
家賃等補助	23(うち新規9)	293万円

- ・ふるさと納税寄付者への返礼品(7億9,268万円)
- ・薩摩藩英国留学生記念館誘客PR事業(774万円)  
映画「天外者」上映や「村橋久成」の企画展など

## 土木費

- ・道路維持工事費(1億4,288万円)  
道路11路線の改良・舗装、橋梁3橋の補修



[市道島平野元線：右が工事後]

- ・河川維持工事費(1,285万円)  
御手洗川など3河川の改修・浚渫
- ・立地適正化計画策定業務委託(900万円)
- ・麓土地区画整理事業(4億8,962万円)
- ・住宅リフォーム事業補助金(144件、1,207万円)

## 消防費

- ・消防団費(4,123万円)
- ・デジタル無線及び指令システムの保守(814万円)
- ・雨量計測システム整備事業(1,771万円)
- ・避難施設衛生環境整備等事業(2,187万円)



[整備された資機材等]

## 教育費

- ・公立学校情報機器整備事業(1億175万円)  
国のGIGAスクール構想に基づき、児童・生徒に1台ずつのタブレット端末を整備
- ・郷土芸能保存会運営補助金(15団体、142万円)
- ・串木野城跡(日本遺産)環境整備事業(297万円)
- ・学校給食センター運営維持管理費(1億643万円)

### 【事業費の主なもの】

・調理等業務委託	5,798万円
・配送等業務委託	1,760万円
・運営費(光熱水費など)	2,596万円

## 特別会計・公営企業会計

### ○国民健康保険

- ・国民健康保険税の徴収率は現年度分が98.41%で、令和元年度より0.75ポイントの増となった。
- ・歳出は、保険給付費と国民健康保険事業納付金为主なるもの。

### ○地方卸売市場事業

- ・歳入は一般会計からの繰入金、歳出は市場施設災害共済分担金や修繕料等が主なるもの。

### ○介護保険

- ・介護保険料の徴収率は98.5%で、令和元年度より0.1ポイントの増となった。
- ・歳出は、保険給付費が主なるもの。

### ○後期高齢者医療

- ・後期高齢者医療保険料の徴収率は99.9%で、令和元年度と同じだった。
- ・歳出は、後期高齢者医療広域連合への納付金が主なるもの。

### ○水道事業

- ・事業収益は、予算額と比較して3,577万円の増。新型コロナウイルス感染症による巣ごもり需要による利用増と推測。
- ・主な建設事業は、道路改良工事に伴う老朽管の布設替工事や、麓地区土地区画整理事業に伴う配水管布設替工事。

### ○下水道事業

- ・事業収益は、予算額と比較して424万円の減。
- ・主な建設事業は、串木野クリーンセンターの汚泥処理施設の長寿命化事業。

## 委員からの質問・意見（主なもの）

## ○ふるさと納税について

**問** 市民が他市町村へふるさと納税をされた分について、市税の減収状況はどのようなか。

**答** 他市町村へ寄附をして、令和2年度に控除を受けられた方が205人で、1,830万円程度の寄附額。これに対する市民税の控除額が約730万円で、その分だけ市民税が減額となる。

## ○コミュニティ自動車の利活用について

**問** 現在、5台あるうちの3台が十分に活用されていない状況。市街地への移動に困っている人たちへの対応等を考えると、利用しやすい仕組みを整え、活用を働きかけるべきではないか。

**答** 羽島地区では自動車部会をつくり、いろいろと活用の方法を考えて取り組んでいる。高齢化による運転手確保の問題もあるが、羽島地区の活用例を他の地区にも示しながら、活用の方法を考えていきたい。

## ○子育て支援センターについて

**意見** 令和2年7月に開設した子育て支援センター「きらきら」が好評である。安心して子どもを育てられるまちになるよう、今後も努めてほしい。

## ○危険廃屋の状況について

**問** 危険廃屋として対策をすべき空き家が市内にどの程度あるのか。また、その対策をどのように考えているのか。

**答** 現在、13件を把握している。特に危険な家屋については、所有者への手紙や相談など粘り強くお願いをしているが、個人の財産ということでなかなか進まない。

今後は、全国の取組例を収集するほか、市の空家等対策協議会において、審議を進めたい。

## ○鳥獣被害について

**意見** 対応策の進展が見られない。有害鳥獣を減らすためにどんな方法があるのか、一つでも前に進んだ発想と行動を期待する。

## ○空き店舗等の活用について

**問** 空き店舗等活用促進事業補助金について、補助終了後も継続して事業を行っている方がどの程度の割合でいるのか。

**答** 制度を創設した平成25年度から令和2年度までに63店舗が補助を活用している。そのうち、84.1%の53店舗が事業を継続している。

## ○河川の浚渫について

**意見** 河川の浚渫工事については、令和6年度まで国からの財源的な裏づけがなされている。豪雨災害などが発生しているので、計画的に進捗を図るべき。

## ○消防分団について

**問** 消防分団の充足状況と団員確保についてはどのようなか。

**答** 9月1日現在、定数297名に対して、255名で42名の欠員となっている。充足率100%は羽島分団のみ。人員の補充に努めているが、地域によっては、若者が少なく、高齢者しかいない地域もある。

人口減少や過疎化の状況ではあるが、道路事情も改善されていることから、今後の団編成や定数の在り方について、今一度検討する必要がある。

## ○全体として（一般会計分）

**意見** コロナ対策として令和2年度に交付された新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金については、主に感染対策と景気対策として事業が進められてきたが、今後はウィズコロナの対策も求められる。このことも加味しながら、引き続き努力してほしい。

**意見** 入札について、全庁体制で取り組み、状況分析などを行いながら、公平・公正でより競争率が働くよう、環境づくりに努めるべき。

## ○国民健康保険特別会計について

**問** 本市の一人あたりの医療費が高い要因は。

**答** 高齢者人口の増加や生活習慣病の増加、医療技術の進歩、医療機関への複数受診などが考えられる。高医療費となっている原因を他自治体と比較しながら調査したい。

# 議会改革推進特別委員会からの報告

令和2年3月に委員8名による議会改革推進特別委員会を立ち上げ、これまで24回にわたり議会改革に向けた調査・研究等を行ってきました。今回、結論を導き出した項目について、その内容を9月24日の市議会定例会において報告しました。



## 調査項目に対する結論及び方向性

### 1. 一般質問の充実について

一般質問の充実については、まずは様々な視点のもとで現状を把握することから始めた。委員から出された多くの意見等を集約・検証するとともに、既定事項（議員申し合わせ）の確認を行い、一般質問を充実させるための提案を行うこととした。

#### 【提案事項】

1. 近年、市長答弁が少なくなっていることに鑑み、質問の仕方や文言の使い方を工夫する。
2. 市民や傍聴者を常に意識し、分かりやすい表現や文言で質問の組立を行う。
3. 市長と議員は対等の立場であることから、敬語等の使い方を再確認する。
4. 誤った数値等の発言を防ぐため、事前調査や下調べを徹底する。
5. 研修会や勉強会を開催し、質問力の向上に努める。
6. 不適切な発言や言葉づかい、差別的な発言には注意する。

### 2. 議員と語る会について

#### ○開催頻度等について

- ・毎年開催をするが、近くの会場をまとめて実施する。
- ・班の編成については、2班集体(各班8人)とする。
- ・団体との意見交換は今までどおりとする。

#### ○内容について

- ・いくつかテーマを設けて地区に投げかけ、その中から選択したテーマで意見交換をする。また、地区からのテーマの要望があれば対応する。
- ・議会報告の時間を10～15分程度減らし、意見交換を重点的に行う。



### 3. 高校生との意見交換会について

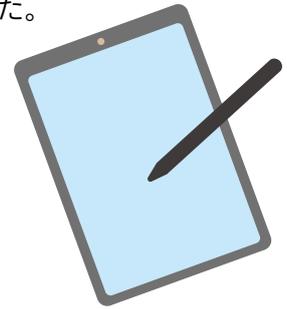
- ・市内の3高等学校(串木野高等学校・市来農芸高等学校・神村学園高等部)を対象にした『高校生との意見交換会』を今後開催する。
- ・今後の開催に向けて開催基本要項を策定した。

## 4. タブレット端末の導入(ペーパーレス)について

- ・議会にタブレット端末を導入する目的を確認した上で、機種等の選定を行った。

### 【タブレット端末を導入する目的】

- ① 会議資料等のペーパーレス化
- ② 議員の情報収集能力の向上
- ③ 議員と事務局との連絡ツールとして活用



- ・必要な予算を6月定例会に計上し、年度内の導入を進めることとした。

## 5. 議員研修の充実・強化について

- ・これまで行ってきた議員研修会の内容を振り返り、現状や課題を整理した。
- ・今後の議員研修会が「議員の資質向上」や「議会の活性化」につながるよう、議会運営委員会や進行議員のほか、研修会に参加する議員全員が今回定めた取り決め(ルール)を守りながら、主体的に取り組むこととする。

## 6. 定例会会期等の検討について

### ○開会日に議案質疑及び委員会付託ができないか

- ・開会日に、原則として議案質疑及び委員会付託を行う。  
ただし、議案の上程数が多いときはこの限りでない。

### ○一般質問と常任委員会の順序について

- ・従来どおり、【一般質問→常任委員会】の順とする。

### ○内容次第では議案の委員会付託を省略し、即日採決できないか

- ・原則として、専決事項については委員会付託を省略して採決する。  
(令和3年3月定例会から実施)

## 7. 予算及び決算の審査方法について

- ・審査はこれまでと同様に特別委員会を設置して行う。
- ・議論を深めるための新たな取組として、『質疑の事前通告』を導入した。  
(令和3年度当初予算審査と令和2年度会計決算審査において実施)

## 8. 議長及び副議長の選挙(所信表明)について

- ・議長及び副議長の選出過程を市民に分かりやすくするため、令和3年11月以降に行う選挙において、『本会議場での所信表明』を行うこととした。

## 9. 議会基本条例の見直しについて

- ・各条項の文言や内容等の検証・確認を行ったほか、令和2年10月に策定した『いちき串木野市議会大規模災害対応指針及び行動マニュアル』に関する条文を追加した。

# 16名の新しい議員が決まりました ※左上より50音順に表示



江口 祥子



下迫田 良信



大六野 一美



高木 章次



竹之内 勉



田中 和矢



田畑 和彦



中里 純人



中村 敏彦



西田 憲智



濱田 尚



原口 政敏



東 育代



福田 清宏



松崎 幹夫



吉留 良三

## 議会傍聴にどうぞ

12月定例会の開会予定は

**11月30日(火)**です。

※市のホームページでもご覧になれます。

## 議会の動き (令和3年8月～10月)

### 【8月】

- 10日 第23回議会改革推進特別委員会
- 17日 議会運営委員会
- 18日 議員全員協議会
- 24日 第3回タブレット活用推進委員会
- 25日 議会運営委員会
- 27日 議員全員協議会  
本会議(開会日・議案質疑)  
決算審査特別委員会  
第4回タブレット活用推進委員会
- 30日 決算審査特別委員会(9月1日まで)

### 【9月】

- 2日 第24回議会改革推進特別委員会
- 9日 一般質問(10日まで)
- 10日 議員全員協議会
- 13日 常任委員会(総務厚生委員会)
- 14日 常任委員会(産業教育委員会)
- 21日 議会運営委員会
- 24日 議員全員協議会  
本会議(最終日)  
議会広報特別委員会

### 【10月】

- 6日 議会広報特別委員会
- 14日 議会広報特別委員会
- 21日 議会広報研修会(鹿児島市)

### 編集後記 (2年間の編集を終えて)

これまで2年間の任期のなかで「議会だより」の編集に携わってきました。

市民の皆さんにとって分かりやすく、より親しみの持てる広報紙を目指して、紙面のレイアウト等さまざまな工夫を重ねてきました。

今後も引き続きご愛読くださいますよう、よろしく願いいたします。

(議会広報特別委員 一同)

